

令和7年度 アクションプラン

令和7年度 若栗小学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	確かな学力の育成（知）
重点課題	本に親しもうとする態度の向上
現 状	・昨年度は、学年の実態に応じて教師がノートやタブレット端末の活用場面を考え、子供たちが自分の考えを再構築するよさを実感しながら、主体的に学ぼうとする態度を高めた。今年度は、自分の言葉を用いて表現する態度の向上を目指す。そのために活動を工夫し、人間関係の土台となるコミュニケーションを活発にしたい。そのことが、考える力の支えとして働き、自分の考えを表現しながら学び合うことにつながると考える。本に親しむことで、語彙力や思考力、各教科の課題を正確に把握するための読解力、課題解決に向けた情報活用能力等の高まりを目指すしたい。
達成目標	「4 A運動」の「好きな本を増やすことができた」について自己評価し、「できた」と評価した児童が、80%以上になることを目指す。
方 策	・学年の実態に応じ、読み聞かせや友達と互いに本を紹介する活動等を国語科の学習と関連させて設定することで、コミュニケーションを取りながら本の楽しさに気付く体験を増やす。 ・本を読む時間を十分に確保するために、休み時間だけでなく、火曜日と木曜日のもくもくタイムに2学年ずつで図書室を利用し、本に親しむ時間を増やす。 ・自分の読書の振り返りと確かめとして、目標冊数を決めて読書の記録ファイルを記入し、学期ごとに目当ての達成度を評価しながら読書の幅を広げていく。
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校（学年）だより、ホームページ、学年懇談会

令和7年度 若栗小学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	健やかな体の育成（体）
重点課題	基本的生活習慣における自己管理能力の向上
現 状	昨年度は、毎週月曜日に「健康生活調べ」を実施してきた。昨年度の結果から「つめ・ハンカチ・ティッシュ」の3項目は、概ね達成している。しかし、生活リズムを整える「早寝・早起き」は、個人差が大きく、学校での生活に影響が見られる子供もいる。また、昨年度までの数年間、メディアとの関わりについても積極的に呼びかけを行い、メディア以外の楽しさを見付けられている児童も増加している。 そこで今年度は、基本的生活習慣の大切さやメディアとの適切な関わり方について子供たち自身がより意識して取り組むことができるようにしていきたい。
達成目標	セルフマネジメント（早寝早起き、メディアとの関わり、食事など）について自己評価し、目標を達成する児童が80%以上になることを目指す。
方 策	・毎週月曜日に、健康生活調べ（早寝・早起き・メディアのきまりを守る・好き嫌いなく食べる・月別目標・防犯ブザー）を実施し、生活習慣を自分自身で見つめ、管理できるよう指導する。また、家庭とも連携を図り、より意識して生活できるように促す。 ・学校保健委員会では、健康生活調べの項目と関連のあるテーマを設定し、基本的生活習慣の大切さについて指導する。 ・学級活動等の保健指導と結び付けながら、保健委員会を中心に呼びかけや掲示を行い、健康な生活に見える化することで、児童の意識を高める。 ・学期末には振り返りカードを記入する時間を設け、家族と共に振り返る場を設定することで、今後の自分の生活を見直すよう指導する。 ・望ましい生活習慣や「健康生活調べ」の結果を各種たよりで家庭にも知らせたり、学級懇談会で話題として取り上げたりすることで、理解と協力を得る。
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校（学年）だより、ホームページ、学年懇談会

令和7年度 若栗小学校アクションプラン - 3 -

重点項目	豊かな心の育成（徳）
重点課題	あいさつなどの「ぽかぽか言葉」を重点とした「4 A運動」の推進
現 状	・昨年度は、児童玄関前での「あいさつリレー」に加え、校内の様々な場所であいさつをすることを目指し、校内でのあいさつのポイント（場所や時間）を具体的に示し、元気よく、気持ちのよいあいさつを校内に響かせることができた。また、相手を温かい気持ちにする「ぽかぽか言葉」の取組（全校や学級のレクリエーション）では、あいさつや相手を思いやる言葉、励ます言葉を交わし合い、児童の笑顔をたくさん見ることができた。そこで、今年度は、普段の生活でも「ぽかぽか言葉」を進んで使い、温かい人間関係を築いていく取組を考え、実施していきたい。
達成目標	「4 A運動」の「あいさつなどのぽかぽか言葉を進んで使う」について自己評価し、「できた」と評価した児童が80%以上になることを目指す。
方 策	・年度初めに、「ぽかぽか言葉とはどんな言葉か」について学級で話し合った後、代表委員会で内容をまとめ、「ぽかぽか言葉」を進んで使って、温かい気持ちを広げていこうとする意識をもたせるようにする。 ・「4 A運動」強調週間には「あいさつなどのぽかぽか言葉を進んで使う」について、自分の目標を設定することで意欲的に取り組めるよう支援する。 ・計画委員会が中心となり、「ぽかぽか言葉」の取組み（全校や学級のレクリエーション）を継続し、楽しみながらぽかぽか言葉を使うよさを味わえるようにする。
外部評価	学校運営協議会
公開の方法	学校（学年）だより、ホームページ、学年懇談会